

報告事項キ

令和 7 年度鳥取県スーパー工業士（第 3 期生）認定証授与式の開催結果について

令和 7 年度鳥取県スーパー工業士（第 3 期生）認定証授与式の開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和 7 年 1 月 24 日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和7年度スーパー工業士(第3期生)認定証授与式の開催結果について

雇用人材局産業人材課
高等学校課

AI等の先進技術を利活用できる次世代ものづくり人材を育成する県独自の認定プログラム「鳥取県スーパー工業士」の第3期生の認定及び認定証授与式を開催しましたので報告します。

1 令和7年度鳥取県スーパー工業士(第3期生)認定証授与式の概要

- (1) 日 時：令和7年10月27日（月）午後1時30分から午後2時
- (2) 会 場：県立図書館大研修室
- (3) 出席者：スーパー工業士認定者 23名、学校関係者
(鳥取工業高校10名、鳥取湖陵高校2名、倉吉総合産業高校1名、米子工業高校10名)
- (4) 次 第：認定証授与、副知事挨拶、認定者代表挨拶
- (5) 認定日：令和7年8月28日

[認定者のコメント]

- ・AIの活用には正確なデータの扱いと論理的視点が必要だと学んだ。
今後は、AIを活用し、環境に優しい社会づくりに貢献したい。

[関係者のコメント]

- ・ロボット演習の際に障害物の検知方法について質問したところ、生徒から非常に具体的な回答があり、よく考えて取り組んでいる様子が感じられた。（スーパー工業士認定制度運営委員会委員）
- ・時間を要すると思われた配線作業もスムーズに終え、ロボットの走行実験についても、床などの環境要因を考慮しながら熱心に取り組んでいた。（AI・ロボット演習担当 鳥取大学工学部教授）



2 鳥取県スーパー工業士制度の概要

- (1) 目 的：生産現場においてAIをはじめとしたデジタル技術を活用できる次世代人材を育成するため、県独自の認定プログラムで学んだ工業高校の生徒を県が「スーパー工業士」として認定することで、認定者の就職や進学などのキャリア形成を支援する。
- (2) 認定要件：(ア) 認定プログラムを修了すること (イ) 高校の成績が優秀であること
- (3) 認定時期：3年生の夏
- (4) 認定プログラム

実施時期	認定プログラム	学習内容
2年生 (下期)	システムデザイン研修 (オンラインライブ講義)	AIの基礎のほか、システムの基本的な構成要素、システム設計を行うための視点・考え方などを学び、AIツールを活用した画像判別システムを試作。
	データサイエンス研修 (オンライン動画学習)	「社会におけるデータ・AI利活用」、「データリテラシー」「データ・AI利活用における留意事項」を学習。（オンライン動画学習 Udemy/高校生の活用は全国初）
3年生 (上期)	AI・ロボット演習 (鳥取大学工学部集合演習)	システムデザインやデータサイエンス研修を踏まえた総括演習として、移動ロボットを使い、障害物をAIで画像判別する衝突回避アルゴリズムを構築。

[AI・ロボット演習(鳥取大学工学部)の様子]



ロボットへの配線、プログラミング



ロボット走行実験、プレゼン

(5) 認定者への支援措置

スーパー工業士キャリア支援補助金：デジタル関連の資格取得等の費用を最大15万円(10/10)支援

(6) 実績 第1期・第2期認定者31名の進路 進学21名(うち、県内3名)、就職10名(うち、県内5名)

※進学した過年度認定者に対し、県内就職促進に向けた情報提供（県内就職イベント、企業イン

ターン情報の案内等）を実施

(7) 今後の取組 令和7年10月から第4期生が受講を開始（県下4校21名が参加）